

5-3 東海地方の微小地震の分布 (1999年 5月 1日~10月 31日) Distribution of Microearthquakes in Tokai District(May 1-October 31,1999)

名古屋大学大学院理学研究科
Graduate School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1999年5月1日より1999年10月31日までの6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

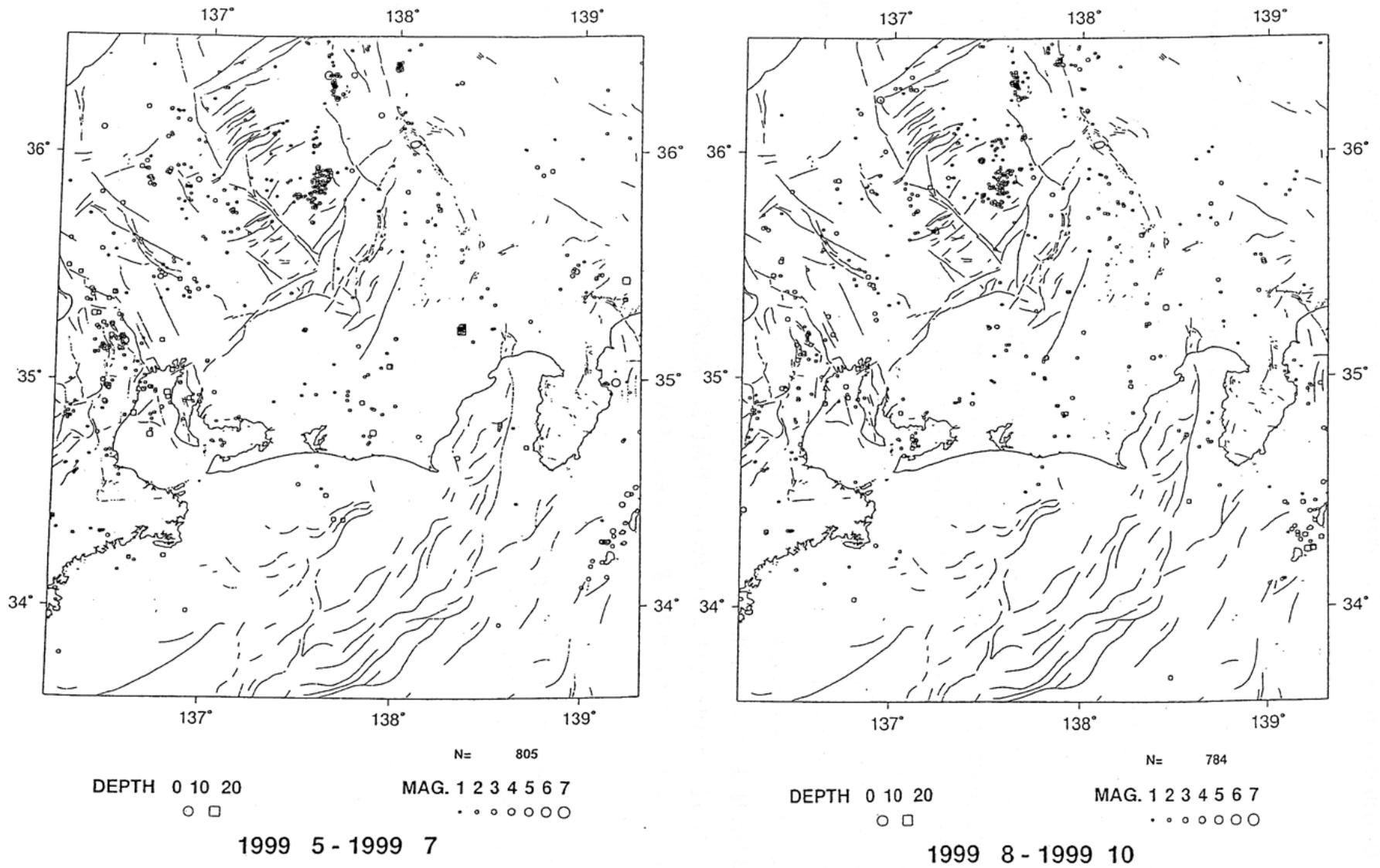
第1図は1999年5月1日より1999年10月31日までの6カ月間に名古屋大学大学院理学研究科の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を3ヶ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 上部地殻内に発生する地震については、東海地域では愛知県西部では静穏であったが静岡県東部では5月7日にM4.7の地震などがあり、やゝ活動的であった。
- (2) 長野県西部地域ではほぼ定常的であったが、活動の中心は北東部に移っている。
- (3) 養老断層付近では1998年04月22日のM5.4の地震以後余震活動が続いている。
- (4) フィリピン海プレート内の地震活動は定常的な活動であった。

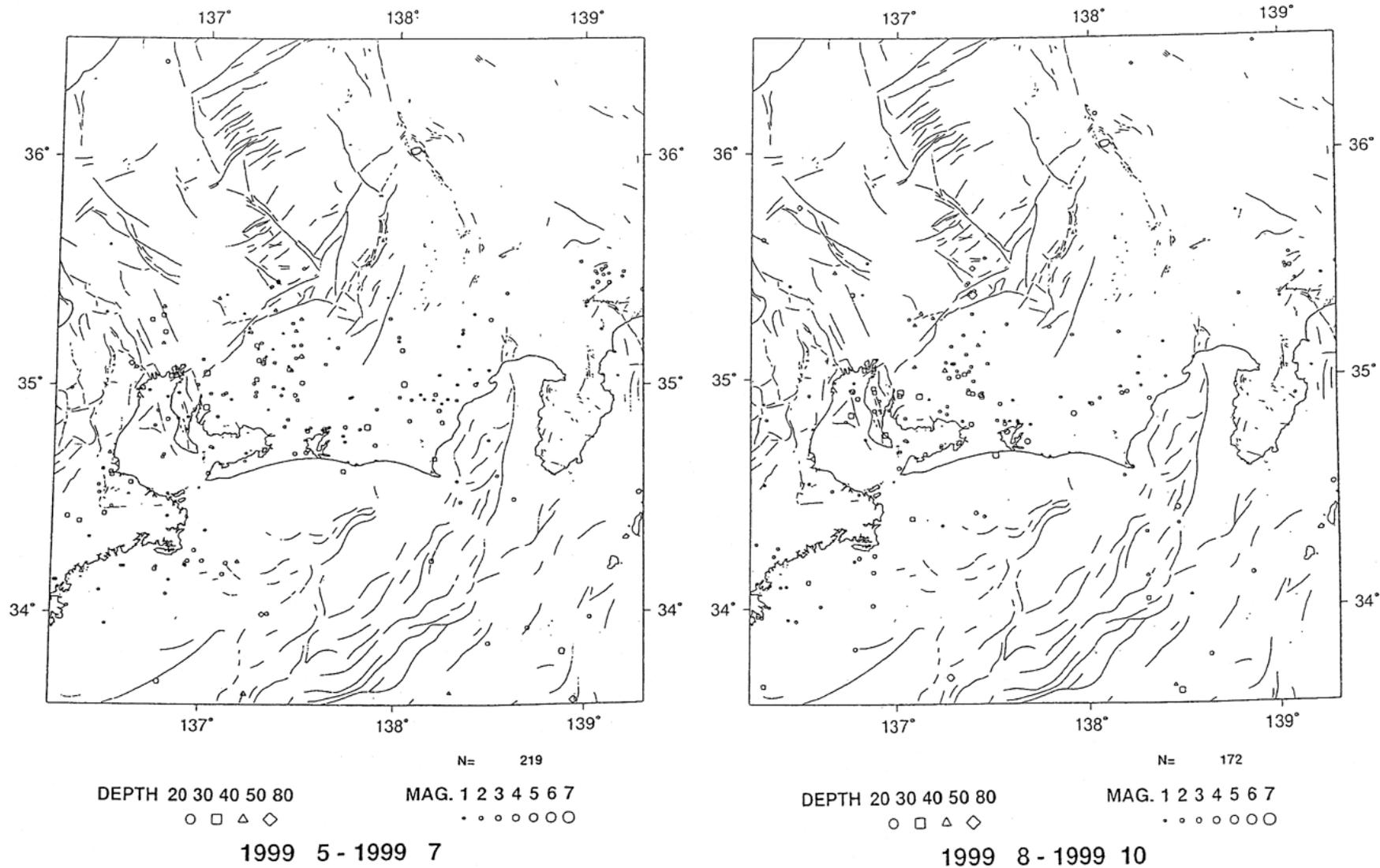
参 考 文 献

- 1) 名古屋大学大学院理学研究科：東海地方の微小地震の分布 (1998年11月1日~1999年4月30日), 連絡会報, **62**, (1999), 254-256



第1図 微小地震の分布 (1999年5月1日～1999年10月31日) 震源の深さが20km未満のもの

Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1999 - Oct. 31, 1999) shallower than 20 km.



第2図 微小地震の分布 (1999年5月1日~1999年10月31日) 震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1999-Oct. 31, 1999) deeper than and equal to 20km.